



問 工業用地の確保に係る取り組みについて問う

工業用地については、中勢北部サイエンスシティも完売になり、民間事業者が主体となって行うという斬新な手法で新たな用地の確保に取り組まれるが、この取り組みを円滑に進めるために、行政はどのように関わっていくのか。

答 行政手続のサポートや、企業の誘致活動に取り組む

市としては、まずは候補地を選定し、選定後は工業用地の整備が適正かつ円滑に進められるよう、必要な行政手続などに関し、ビジネスサポートセンターが関係部局との橋渡しやサポートを行う。

また、整備完了後、速やかに企業が立地するよう誘致活動についてもビジネスサポートセンターが連携して取り組む。

その他の質疑・質問

- 海浜公園内陸上競技場改修事業について
- 津駅周辺道路空間整備広域ネットワーク構築事業について
- 相続土地国庫帰属制度について

▶ 完売になった中勢北部サイエンスシティの工業用地



問 多胎児家庭の子育て支援の充実を

市内で双子を育てる母親の話では、双子の育児は子ども1人の2倍ではなく4倍大変で、虐待と紙一重のところまで思い詰めることもあり、自宅での育児を助けてほしいと切実に訴える。津市の子育て支援として、登録会員の自宅で一時的にこどもを預かるファミリー・サポート・センター事業があるが、双子を連れての外出は大変労力を使う。多胎児家庭の自宅での支援を求めるがどうか。

答 子育て支援ヘルパー派遣事業の創設を目指していく

多胎児を持つ子育て家庭は、途切れない育児を行い、きょうだいがいればさらに育児負担が増え、家事もしなければならないなど、日常生活の様々な場面で大変な状況である。

これまで、津市の子ども預かり事業は、ファミリー・サポート・センター事業といった自らがこどもを預けに行く事業であり、依頼者の家庭を訪問させていただくサービスはなかった。

そこで、自宅で家事・育児を手伝ってほしいという思いに応え、子育てにおける心身の負担と軽減を図るため、子育て応援ヘルパー派遣事業の創設を目指してやっていきたい。

その他の質疑・質問

- 選挙を実施するに当たって
- 郵便投票の対象を要介護4以下の方にも拡大を
- 選挙公報の全戸配布を
- 小学生ライフプラン教育事業について
- 生理の貧困の改善を
- 市内の中学生によるスマホの使い方のルールづくりについて

▶ 市内の中学生らが作成したスマホの利用宣言。大人に広く知ってほしいとの意見が出たそう。

